

# きずな

2008年 3月13日

NO 689

赤旗井原出張所

井原市井原町103 (TEL 62-6200)

井原市議会3月定例会で日本共産党の森本ふみお議員が5日に石井敏夫議員が6日に質問しました。両議員の質問と執行部の答弁の概要は次のとおりです。

## 森本ふみお議員の質問の概要

### ◆助産院の開設を真剣に検討しては

市内の妊産婦のため助産院の開設を真剣に考えてはどうですか。昨年12月に岩手県遠野市で助産院を開設しています。市長自身が遠野市へ行って開設の苦労話を聞き開設の可否を決めてはどうですか。

### ◆幼・小・中・市立高校の全教室に扇風機の設置と増設を考へては

夏、暑くて子どもたちが授業に集中できないことがあるようです。幼・小・中・市立高校の全教室に市の予算で扇風機の設置と増設を考へては。

### ◆ごみ減量の目標を立て、分別徹底のち密な方針を提示しては

ごみ減量の方向は、ごみ袋の有料化を含めて、一定提示されましたが、まだまだ具体性に欠けていると思います。ごみ減量の目標を年度別立て、分別徹底のち密な方針を提示し、有料にしなくても減量できる手立てを考へてはどうですか。また、住民や事業所に対する啓蒙、お願いの計画をどう立てていますか。



### ◆ハート・プラスマークの看板を必要個所へ設置(表示)しては

現在、市内の公共施設の出入り口付近の駐車場スペースに、車椅子利用者などのための看板が設置されています。この場所にハート・プラスマーク(心臓や腎臓などの身体の内部に障害をお持ちの方々のために作られたマーク)の看板を追加設置(表示)してはどうですか。

### ◆地球温暖化抑制に対する市としての具体的な施策を示しては

いま地球温暖化が世界的に問題になっています。本市としても温暖化抑制の施策を全市民に訴えていかななくてはなりません。

そのための具体的で実行しやすい施策を示してはどうですか。

### ◆都市照明などの点検を頻繁にすべきでは

市内の幹線道路に設置されている都市照明などで、長い間、点灯していないところが目につきます。

以前にも点検をという提言をいたしました。その時は、定期的にやっているとのことでした。点灯していないところがないよう点検を頻繁にすべきではないですか

## 左の質問に対する執行部答弁の概要

公設での助産院開設について、現時点では考えていないが、大変興味のある事柄なので担当部に指示を出し調査した。

**遠野市の現状が井原市に適応するかどうか目で見、生の声を聴きにわたくし自身視察に行きたい。**

今後各学校の実情を聞きながら、備品の整備の中で扇風機設置を進めて行き、学校教育環境整備のために努めて行きたい。

設置した学校の中で、約半分がPTAの会費から寄付を受けているが、**今までも市費で対応してきているので、今後も市費で考へて行きたい。**

今年度作成する「一般廃棄物処理基本計画」に定める個別の施策を着実に実行することで目標達成を図りたい。**今後新たな施策の実施を行う場合は、具体的な実施計画を作成して取り組みたい。**

今後も市広報、市政だよりでの啓発、各地域での説明会、職場研修や小学校の環境学習の場での指導、いきいき井原出前講座等**できるだけ多くの機会を利用して周知徹底して行く。**事業所にも引き続き、ごみの排出抑制や分別の徹底をお願いする。

昨年の12月に市内の各公共施設長宛に「思いやりスペースの設置について」ということで、基本的な優先者マークを示し、各施設の駐車スペースの利用形態等を考慮し、創意工夫のうえ設置に努めるよう通知している。

これまでに設置した施設は111施設中6施設で、このほか**29施設については早急に対応することにしている。**他の施設では色々な問題点や利用状況があるので実情に合わせて設置に努めて行きたい。

今後とも各家庭でできることをお知らせしていきたい。市民皆様とともに地球温暖化防止に対する取り組みを進めていきます。市民に対する啓発は徹底して行きたい。県が進めている「アースキーパーメンバーシップ会員の募集」というパンフレットを**全戸に配り、会員の加入を推進し、市民に地球温暖化防止の自覚を深めていただきたい。**



市内には都市照明が564基設置されている。これらの照明は、井原商工会議所、備中西商工会、中国電力、井原市などが合同で事務局を持つ「井原市照明都市計画推進委員会」が維持管理をしている。

それぞれ点検はしているものの、不点灯はあとを絶たず、タイミングによっては数ヶ月間不点灯が続くという場合がある。**今後、委員会内で検討し迅速な対応を考へたい。**

◆AEDの設置個所のマップを作成し、全戸に配布しては

市もAED（自動体外式除細動器）の設置を進めてきたところですが、市内にはAEDを設置している事業所があります。

これらを調査し、事業所の了解をとり、設置している公共施設とあわせて設置事業所のマップを作成し、全戸と各種団体に配布してはどうですか。

平成20年2月末現在、学校関係23台、体育施設4台、貸し出し用2台を含め全体で35台設置している。現在のところマップを作ることは考えていない。今後、広報等によりAED設置事業所の中で、一般市民の使用を了解してくださる事業所の把握に努め、**公共施設と併せて市内のAEDの設置状況について市のホームページや広報（事業所も含めたマップを掲載）でお知らせしたい**と考えています。

◆限界集落に対する市の対策は

いま全国的に限界集落（人口の50%が65歳以上の高齢者になり、冠婚葬祭など社会的共同生活の維持が困難になった集落）が大きな問題になっています。

井原市でも農山村部は過疎化などで人口が著しく減少し、限界集落に対する認識を深めなくてはなりません。そこで、井原市として限界集落に対する対策をどのように立てていますか。

当該地域の方々が、なにを考えどんな施策を望まれているのかが重要であろうと思っている。**県の助成を受け、市内で一箇所モデル地区を選定**し、その地域の方々と共同で持続可能な地域運営の組織、方法について検討していくことも必要だろうと考えている。この取り組みの中で、今後、地域・集落の機能維持に向けて井原なりの施策を創出し実施していきたい。

◆地震対策で高齢者世帯らに家具類の転倒・落下による被害防止対策を

消防庁が、最近発表した地震の被害調査で、家具類の転倒・落下による負傷者が3～5割を占め、負傷者の6割が60歳以上だとされています。

この地方は、強い地震は起きないと言われている地域ですが、万が一に備え、市として高齢者世帯や低所得者世帯に対し、家具類の転倒・落下による被害防止対策を講じてはどうですか。

家具類の転倒・落下防止対策については、金具を使って家具を壁面に固定するとか、テレビ代のキャスターをはずして動きにくくするとか、食器棚のガラスに飛散防止フィルムを貼るなどの手法があります。これらの防止対策については個人で行っていただきたい。

高齢者世帯や低所得者世帯に対しての家具類の転倒・落下防止のための経費の助成については、現段階では考えていません

石井敏夫議員の質問の概要

◆4月から受給手続きが煩雑になる児童扶養手当の柔軟な対応を

2002年の母子及び寡婦福祉法等の改正により、母子家庭への支援については、従来の「児童扶養手当中心の経済支援」から「就業・自立に向けた総合的な支援」への転換が図られました。

本年3月末時点で、児童扶養手当を受給して5年以上になる母子家庭に対し「児童扶養手当の受給に関する重要なお知らせ」が届き、就業意欲があるかないか、また、就業が困難な事情を証明する書類の提出を求めるものです。手続きをしなければ、4月から手当てが半分になる可能性もあるといわれています。

大きな不安を抱えながら生活している母子家庭に対して、煩雑な手続きや金銭的負担を強いるやり方ではなく、柔軟な対応をしてはと思いますか。どうか。また、井原市で対象者は何人でしょうか。

左の質問に対する執行部答弁の概要

支給事務にかかる手続きについては、国の政令及び省令が2月下旬に通知された。

井原市では3月3日に5年経過月を迎える106人の受給者に対し「児童扶養手当の受給に関する重要なお知らせ」等を送付し、関係書類の提出をお願いしている。一部支給停止の届出書に必要な書類については、国が様式を示しております。

（手続きについて）柔軟な対応をしてはどうかということですが、制度の支給手続きや必要な書類等は国で定められており、市独自に運用することができないとされているので、ご理解をいただきたい。

児童扶養手当受給者は2月末現在で267人おられます。



◆交通渋滞の解消を

市道井原北川線の花野三叉路では、以前から毎日のように朝の通勤時の信号待ちで、一時的に長い車の列が続いています。1分を争う貴重な時間を、いらいらしながら待つのは大変です。また、この三叉路は通学路でもあり、交通事故もよく起きる場所でもあります。何とかならないかと言う声をよく聞きます。

子どもたちが安全に登下校でき、交通安全を守るためにも改良が必要です。道路の拡幅が困難であれば、信号機の点滅する時間設定を、より適切は設定に変更し渋滞を解消してはどうですか。

渋滞を解消するためには、時差式の信号機の時間を調整する方法と右折車線を設ける交差点改良の二つの方法が考えられます。交差点改良が必要と考えますが、改良個所の両側に家屋があり、現状では拡幅は困難な状況だと考えます。

交差点改良を行うためには、交差点周辺の地権者を含め地域住民の方々の協力が必要です。協力が得られるのであれば、歩行者の安全性を考慮しながら交差点改良計画を検討していきたい。

**信号機の時間差をもう少し大きくする方法と、センサーの機能などについて、公安委員会とも協議して検討していきたい。**